

安全

2 1. 新規褥瘡発生率

算式

【分子】 分母対象例のうち、入院中に新たに「DESIGN-Rでd2以上」又は「NPAUP分類でステージⅡ以上」に該当する褥瘡が発生した患者数

【分母】 新入院患者数

定義

入院患者における新規褥瘡の発生割合

指標の解説

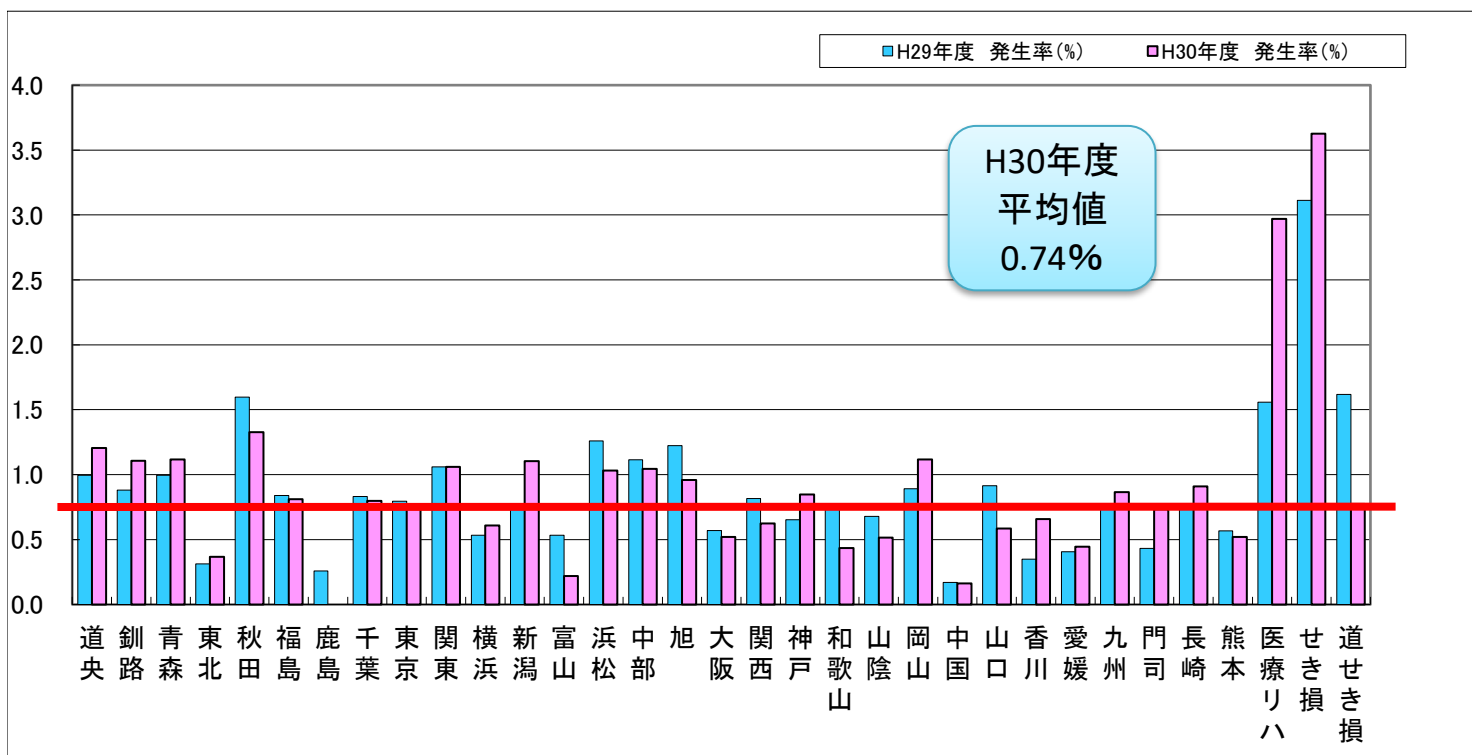
施設調査より抽出

安全で質の高い医療の提供に関して、病院での褥瘡予防の取組みについて褥瘡の発生状況から評価する。

褥瘡は、患者のQOLの低下により、在院日数の長期化や医療費の増大につながる。褥瘡対策は、医療の重大な項目のひとつに取り上げられ診療報酬にも反映されている。

発生率が低い場合には、患者のQOL向上に積極的に取り組むとともに、効率的な医療を提供していると評価できる。

2.1. 新規褥瘡発生率



No	施設名	H29年度			H30年度		
		分母	分子	発生率(%)	分母	分子	発生率(%)
1	道央	2,911	29	1.00	3,234	39	1.21
2	釧路	8,621	76	0.88	8,855	98	1.11
3	青森	4,016	40	1.00	4,121	46	1.12
4	東北	11,538	36	0.31	11,744	43	0.37
5	秋田	1,817	29	1.60	1,656	22	1.33
6	福島	5,353	45	0.84	5,058	41	0.81
7	鹿島	771	2	0.26	421	0	0.00
8	千葉	10,954	91	0.83	11,043	88	0.80
9	東京	7,929	63	0.79	7,706	58	0.75
10	関東	15,390	163	1.06	15,371	163	1.06
11	横浜	18,785	100	0.53	18,916	115	0.61
12	新潟	2,158	16	0.74	2,175	24	1.10
13	富山	3,938	21	0.53	4,122	9	0.22
14	浜松	5,320	67	1.26	5,232	54	1.03
15	中部	10,329	115	1.11	10,344	108	1.04
16	旭	4,737	58	1.22	4,594	44	0.96
17	大阪	21,259	121	0.57	20,784	108	0.52
18	関西	17,763	145	0.82	18,232	114	0.63
19	神戸	6,882	45	0.65	6,496	55	0.85
20	和歌山	7,564	56	0.74	7,605	33	0.43
21	山陰	7,357	50	0.68	7,580	39	0.51
22	岡山	7,396	66	0.89	6,986	78	1.12
23	中国	8,861	15	0.17	8,626	14	0.16
24	山口	5,142	47	0.91	4,956	29	0.59
25	香川	9,738	34	0.35	9,561	63	0.66
26	愛媛	3,447	14	0.41	3,138	14	0.45
27	九州	9,913	77	0.78	10,276	89	0.87
28	門司	3,016	13	0.43	3,140	23	0.73
29	長崎	5,873	45	0.77	6,043	55	0.91
30	熊本	9,184	52	0.57	9,405	49	0.52
31	医療リハ	513	8	1.56	505	15	2.97
32	せき損	1,157	36	3.11	1,186	43	3.63
33	道せき損	1,484	24	1.62	1,420	11	0.77
合計		241,116	1,799	0.75	240,531	1,784	0.74
平均	500床以上	15,844	113	0.72	15,899	109	0.68
	400床以上	9,041	53	0.58	9,072	62	0.68
	300床以上	6,345	52	0.82	6,512	48	0.74
	300床未満	2,366	24	1.03	2,326	26	1.10